

第2学年国語科学習指導案

単元名 構成と論理の展開に注意して読もう

教材名 「モアイは語る～地球の未来～」(光村図書 中学校2年)

1 単元について

本学級の生徒は1年時に「未来をひらく微生物」で身近な環境問題について学んでいる。この単元では言葉の意味を正確にとらえることと段落の役割に着目して、文章の構成を読み取ることを学習している。また、書く活動としては、調べたことを正確に伝えるためにレポートを書くという学習を既に行っている。前単元の「文化を伝えるチンパンジー」では、事実と考察を読み分け、論理の展開の仕方を読み取ることを学習した。平成21年度の佐賀県小・中学校学習状況調査においては、「目的に応じて論の展開を押さえ、正確に理解すること」に課題が見られる。これらのことを踏まえて、本単元では教材「モアイは語る～地球の未来～」を読み、各段落が文章全体の中で果たす役割を、スモールステップによってとらえていく学習活動を行う。この学習活動の中で、目的に応じて要約したり要旨をまとめたりすることで、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の読み分けができる力を身に付けさせたい。

本単元は、要旨をまとめる、要約するという言語活動を位置付け、文章の構成や論理の展開、筆者の意見を読み取る単元である。本教材は、根拠となる事実を見いだした手順、その事実が物語っていたもの、現在に投げ掛けている問題などを分かりやすい文章構成で述べている。文章構成と論理の展開を理解した上で、根拠となる事実を整理し、筆者の意見を要約することにより、それを文章としてどのように構成していったかを理解する教材としたい。また、この文章構成を参考にしながら自分の意見文を書くという活動を通して、もう一度、文章の構成や論理の展開について確認できるような単元としたい。

本単元においては、「説明文や論評などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えをもつために要旨をまとめること」(C読むこと(2)イ)を言語活動として設定する。これらの活動を位置付けることで、筆者のものの見方や考え方がどのように表されているか、どのように文章が構成されているかといったことについても理解する必要が出てくる。また、新学習指導要領「C読むこと」の「文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること(C読むことイ)」「文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめること(C読むことウ)」そして、「B書くこと」の「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして文章の構成を工夫すること(B書くことイ)」にも関連した指導内容である。

2 単元の指導目標

- (1) 文章の構成や論理の展開をとらえ、書かれている事実と筆者の意見を的確に読み取らせる。
- (2) 自分が伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫させる。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 問題意識をもって課題に取り組み、筆者の意見を読み取ったり、文章の構成を工夫して分かりやすい文章を書いたりしようとしている。 【C読むこと(1)イ】
イ 書く能力	1 伝えたい事実や事柄を明確にして、文章構成を工夫した文章を書いている。

	<p style="text-align: right;">【B 書くこと(1)イ】</p> <p>2 書いた文章を互いに読み合い，文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり，助言をしたりして自分の考えを広げている。</p> <p style="text-align: right;">【B 読むこと(1)オ】</p>
ウ 読む能力	<p>1 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果について理解しながら読んでいる。 【C 読むこと(1)イ】</p> <p>2 文章の構成や論理の展開について理解し，筆者の意図を読み取っている。 【C 読むこと(1)ウ】</p> <p>3 説明や論評などの文章を読み，内容や表現の仕方によってまとめている。 【C 読むこと(2)イ】</p>
エ 言語についての知識・理解・技能	<p>1 目的に応じて文章の構成や論理の展開に違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 オ】</p>

4 指導と評価の計画（全7時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法
一	1	<p>1 単元の学習目標を知り，この後の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「モアイは語る」を読む。</p> <p>3 文章の構成と論理の展開をとらえる。</p>	<p>学習の流れを示した学習計画表を用いて，単元の学習目標を確認し，単元の学習の見通しをもたせる。</p> <p>「モアイは語る」という題名に比喻（ひゆ）表現が使われていることを押さえ，「モアイが私たちに何を語っているのか」という問い掛けをして，読みへの意欲をもたせるようにする。</p> <p>文章が序論・本論・結論から構成されていることを確認し，3つの意味段落に分けるように指示する。</p>	<p>アー1【課題設定時の生徒の様子観察】</p> <p>ウー2【ワークシートの記述内容】</p>
二	2	<p>4 第一段落と第二段落の内容をとらえる。</p> <p>5 モアイについての事実が書かれている部分を抜き出して整理する。</p> <p>6 モアイについて抜き出した事実をモアイが語っているように書く。</p>	<p>内容をとらえる際に，本文を「問題提起」「根拠（事実）」「問題提起に対する答え」の部分に分けて，考えさせる。</p> <p>ワークシートを用いて，条件に応じて必要な情報だけを抜き出してまとめさせる。</p> <p>モアイが実際に語っているような口調で書くように指示する。</p>	<p>ウー1【ワークシートの記述内容】</p>

3	7	第三段落を読み，筆者の意見を理解する。	本文中で，筆者の意見の中心となっていると思われる部分に線を引くように指示する。	ウー 1【ワークシートの記述内容】
	8	筆者の意見を要約する。	下線を引いた部分を基にして，筆者の意見を要約させる。	ウー 3【ワークシートの記述内容】
	9	全体の要旨をまとめる。	要約をする前に，要約の仕方の手順を，学習の手引きを使って確認する。モアイが語った事実と筆者の意見を要約したものを合わせて全体の要旨とすることに気付かせる。	
4	10	筆者の意見や表現の仕方について考える。	前時に学習した「文章の構成や論理の展開の大切さ」を確認するために意見文を書くことを知らせる。	エ - 1【生徒の様子観察】
	11	意見文を書くために情報を収集する。	「地球の未来」というテーマに沿って，自分で決めた題で意見文を書かせるために，インターネットや図書室の資料から必要な情報を収集する時間を設ける。	
5	12	意見文を書くために集めた情報を整理する。	集めた情報の中から，必要な情報だけを抜き出すよう指示する。	イ - 1【生徒の様子観察，意見文の下書き】
	13	意見文の構成を考え，下書きをする。	「モアイは語る」の構成について読み取ったことを想起させ，活用を促す。	
6	14	下書きを推敲(すいこう)し，清書をする。	友達同士で相互評価する際に，誤字脱字はないか，文章構成は正しいか，相手を納得させる意見文になっているかなどのポイントについて，あらかじめ確認する。	イー 1【ワークシートの記述内容】
三	7	15	意見交流会をし，自分の意見に生かす。	イ - 2【意見文の加筆修正】
	16	学習全体を振り返る。	友達の意見文を読んで，よかったところやアドバイスを発言しやすいような雰囲気を作るように配慮する。学習計画表などを基に「モアイは語る」の学習を振り返らせて，身に付いた力や気付きなどを学習計画表や事後のアンケートに記入させる。	
				ア - 1【学習計画表の記述，事後アンケートの記述内容】